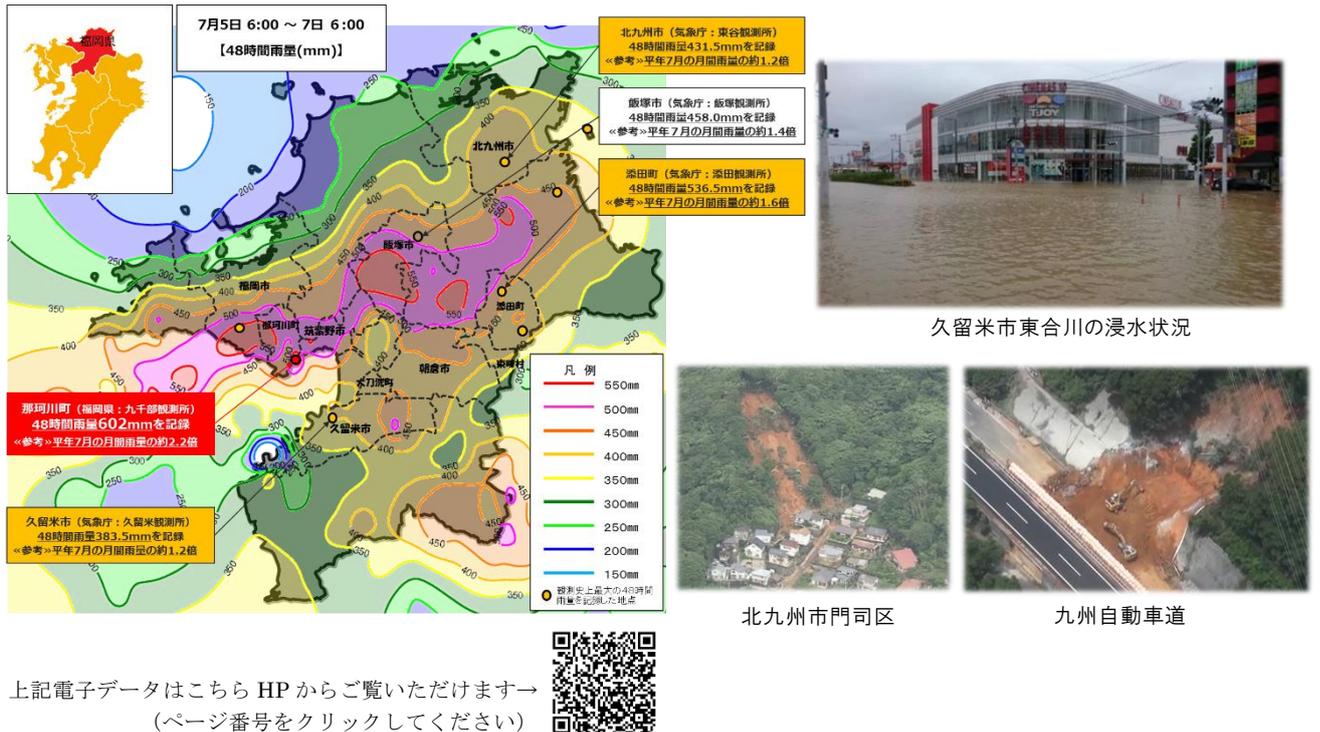


2 平成30年7月豪雨

(1) 被害の特徴

福岡県では、平成30年7月5日朝から7日朝にかけて、県内の広い範囲で大雨が降り続き、全60市町村に大雨・洪水警報、さらに、そのうち8割以上の市町村で、「大雨特別警報」が気象庁から発表されました。

那珂川市で602mmを観測したのをはじめ、北九州市、久留米市など気象庁の県内20観測地点のうち、7地点で48時間雨量の観測史上最大を記録し、久留米市、飯塚市で甚大な浸水被害が発生するなど県内49河川で浸水被害が発生しました。また、県管理道路における全面通行止めが最大で112箇所、人家や公共施設に影響のある土砂災害も106箇所発生しました。



(2) 被害状況

今回の豪雨により、福岡県内では4名の尊い命が失われ、床上及び床下浸水が3,246件発生し、平成29年7月九州北部豪雨に続き、2年連続となる大きな豪雨被害（公共施設被害額：約203億円）となりました。

○主な被害状況		○公共施設被害状況			
区分	人数(件数)	内訳	平成30年7月豪雨	《参考》平成29年7月九州北部豪雨	《参考》平成24年7月九州北部豪雨
死者	4名	○死者4名 (北九州市2名、福岡市1名、筑紫野市1名)	被害額	被害額	被害額
家屋被害	3,669件	【住家】 ○全壊15件 (北九州市10件、嘉麻市2件、その他3市町で3件) ○半壊222件 (飯塚市188件、北九州市10件、その他8市町で24件) ○一部損壊128件(北九州市115件、福岡市3件、その他6市町で10件) ○床上浸水952件 (久留米市423件、飯塚市261件、北九州市131件、その他12市町で137件) ○床下浸水2,294件 (久留米市1,011件、小郡市342件、飯塚市319件、その他35市町村で622件) 【非住家】 ○その他13件 (嘉麻市3件、その他5市町で10件)	138億円	923億円	173億円
			67億円	177億円	172億円
			203億円	1,100億円	345億円

※平成30年8月31日時点把握分
※四捨五入の関係で各項目と合計額が合わないことがある

【参考:全国】

- ・ 死者 237名、行方不明者 8名
- ・ 床上浸水 7,173棟、床下浸水:21,296棟
- ※ 内閣府 HP:H31.1.9 公表時点

○避難状況		○公共施設被害状況	
区分	人数	内訳	被害額
実避難者	16,109名	○北九州市2,096名、朝倉市2,005名、飯塚市1,939名、久留米市1,145名、福岡市798名、太宰府632名、その他45市町村で7,494名	

※ 避難者数最大時(平成30年7月7日時点)